



あすぴあの書架から 『タンタンタンゴは パパふたり』

絵本



ジャスティン・リチャードソン／ピーター・パーネル・著
ヘンリー・コール・絵、尾辻かな子／前田和男・訳
ポット出版・発行

フーテンの寅さんの大ファンな私。映画（※）記念に買った湯呑みを使い始めたら、娘が一言「そのネーミング、これから時代にはアウトじゃない?!」。男女混合五十音順の出席番号で育ち、当たり前にジェンダー意識を身につけると、そんなふうに感じるのね。

多様性が叫ばれる昨今、私は富みに自分の無意識の思い込みを疑うようになった。そこに偏見が潜んでいないかと。

「彼女に新しい恋人ができたらしい」と聞くと男性を思い浮かべ、「保育士の先生」は女性、「家族皆で」はお父さん、お母さん、子ども達のシーンが浮かぶ…ようだと、男性ばかりの議会や理事会に何の違和感も持たないのかもしれない。当たり前の感覚を疑わなきゃ。

本書は、雄ペンギン同士のカップルが子どもを育てる一家のお話。雄同士だからっていじめや迫害が起きることはない。動物園の実話が元のほのぼのストーリー。幼い頃からこういう本に当たり前に触れていくと、家族のースタイルとして無意識の奥深くに刷り込まれる。多様性を受け入れる素地を作る一冊だ。

この原稿を書いていると、冒頭の娘が一言「この本、懐かしー。もはや古典じゃない?!」。昨今の性差別が「今は昔…」になるように、大人が自分の当たり前の感覚を疑って、それは当たり前ではなかったと理解するように、手に取りたい一冊だ。

(F)

※映画のタイトルは「男はつらいよ」

交流スペースで

毎月のイベントチラシを掲示しています。
団体紹介展示もできます。

詳細はあすぴあまで問合せをお願いいたします。

あすぴあ通信 《ボランティア・市民活動情報紙》

【発行】令和3年(2021年)3月(年5回発行)

小平市民活動支援センターあすぴあ 〒187-0031 東京都小平市小川東町4-2-1
E・メール: info@kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp

あすぴあ主催のイベント報告

◆市民活動パワーアップ講座 1/16 1/23

◇「ウェブ会議アプリ Zoom 超初心者向け講座」

～オンライン会議のやり方、ゼロから教わりませんか～

昨年の9月・10月に実施したZoom講座と交流サロンで「Zoomができる人は参加できない」との意見があり、超初心者向けの講座を企画しました。事前にZoomアプリのインストールを支援し、当日、あすぴあ会議室での見学を行い、参加者がZoomを知ることができるように工夫しました。

講師は、昨年と同じ小平IT推進市民グループの佐藤清美さんでした。内容は改良され初心者が理解しやすくなりましたが、それでも超初心者の方は苦労されている様子でした。直接質問を受け、その場で回答するという対面での講座ができるようになることを願っています。応募者が定員15名を大幅に超えたため追加講座を3月に行いました。

◆市民活動の裾野の拡大事業 こだいら人財の森事業
★ステップ3 想いを共有しよう～体験発表会～2/20



Zoom 広石さん講演の最初の画面

Zoomで開催。講師の広石拓司さんが、地域活動に参加するポイント、自分を活かそう・聴き合おう・役割を見つけよう、などについて話されたあと、体験者を含む28名が交流しました。今、「コロナが終わって、早く元に戻らないかな」と思っているけれど、「コロナの経験を経て、地域がもっと良くなつた」と言いたいですね、という広石さんの締めくくりが印象的でした。

◆市民活動交流サロン

◇デジタル社会における市民活動について 2/27

コロナをきっかけにZoomでの市民活動が広く行われています。多くの高齢者はデジタル技術の知識もなく参加することもかないません。津田塾大学インクルーシブ教育支援室の柴田邦臣先生とNPO法人小平シニアネットクラブの石塚直樹さんをゲストに、デジタル社会や情報格差克服について伺いました。参加者から初步的デジタル操作を自ら学ぶ努力が必要なこと、デジタル交流を深め、オンラインでの市民活動をさらに広げたい等の意見が出されました。柴田先生からコロナによる「学びの危機(まなキキ)」や「まなキキフォスター・プラン」についても伺うことが出来ました。



あすぴあホームページ

電話: 042-348-2104 Fax: 042-348-2115
URL: <https://kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp>